

# 国際看護学

選 択

開講年次：4 年次前期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：諸外国の社会、経済、教育、文化的な相違の理解の基に諸外国の看護の仕組みや実際を学ぶ。また、日本の国際的看護活動の歴史と現状を知る。国際的見地から看護を学習することで地球上の人々の健康課題に対する看護の貢献の在り方を考え、異文化に於ける看護・医療サービス提供者としての姿勢を学習する。

- 到達目標**：①国際看護における基本的な概念を説明できる  
②国（文化・国策）によって異なる看護システム・特徴の説明ができる  
③世界の人々の健康問題を、地域（国）格差に焦点を当てて説明できる  
④看護分野における国際協力活動の課題を考察することができる

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎大野 夏代・スーディ神崎 和代

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 国際看護とは①  
グローバル・ヘルス／持続可能な開発のための2030アジェンダ／国際看護
- 第 2 回 国際看護とは②  
国際看護師協会（ICN）／世界保健機関（WHO）  
世界の健康問題の現状 ①主な欧米諸国 人口／保健指標／健康問題の背景／保健医療人材
- 第 3 回 国際看護とは③  
世界の健康問題の現状 ②開発途上国 人口／保健指標／健康問題の背景／保健医療人材
- 第 4 回 国際看護の対象者と健康問題  
在日外国人／在外日本人／世界の人々／海外旅行での健康管理／外国人ツーリスト
- 第 5 回 在日外国人の保健医療福祉（ゲストスピーカー）
- 第 6 回 国際看護と異文化看護  
文化とは／異文化看護能力
- 第 7 回 看護職の国際保健医療活動  
国際協力機関（国際機関・政府援助・非政府援助）／政府開発援助の理念・目的・方法・重点  
グローバル・ヘルスにおける看護の役割
- 第 8 回 国際的活動とキャリア

■**教科書**：『国際看護学—グローバル・ナーシングに向けての展開』／新川加奈子・大野夏代（中山書店）（2013）  
『在宅看護学講座』スーディ神崎和代編（ナカニシヤ出版）（2012）

■**参考文献**：『国際看護・国際保健』／丸井英二（弘文堂）（2012）  
『知って考えて実践する国際看護』／近藤麻理（医学書院）（2011）  
『系統看護学講座 災害看護学・国際看護学』医学書院（2010）  
Nursing in the World (5th Edition)／国際看護交流協会（メチカルフレンド）（2010）  
DVD『目で見る国際看護（全3巻）』／医学映像教育センター（2010）

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
小テスト・ 授業内レポート	○	○	○	○		60%
出席					欠席-5点/日	40%

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：全ての専門科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：国際看護の考え方は、日本で仕事をするときにも必要です。国際協力だけではなく、在日外国人や在外日本人の保健医療に関連した、看護職の多様な役割を考えてみましょう。